



Lighting Workshop Report

ブロンカラーの豊富なアクセサリ&特殊効果ライトを使って、効果的なライティングや製品の特徴を活かした撮影アイデアをご覧頂ける、ブロンカラーライティングワークショップ。今回は新製品スコロの発表記念ということもあり、ブロン社専属フォトグラファー Ms. Nadia (ナディア) をスイスから招き、イチマルキュウスタジオ様(目黒)とブロンスタジオ(池袋)にて盛大に開催しました。

好評だった商品撮影&人物撮影ワークショップのレポートを公開します！



1st Still Photo

- ▶ vodka
- リングフラッシュC
- Pソフト
- パルススポット4

<使用機材>



■ 宙に浮いたボトル ■



まるで宙に浮いているように見えるウォッカのボトル。

どのように撮ったのでしょうか？

撮影台の亚克力越しにボトル真下からリングフラッシュCを発光。柔らかい光効果のリングフラッシュにソフトフィルターを乗せることでさらにソフトできれいなグラデーションが創り出せます。リング(円形)なので中心に自然な影ができ、まるでボトルが浮いているように見えます。背景にはPソフトを使用。

円形に切った紙をPソフトのディフューザーの中心にあてて影を作る一工夫。



ボトルが透明なので背景のライトがうまく透過しています。暗くなってしまったキャップ部分は、スポット4で小さなスポット光を作りライティングしました。ボトルに余計な光が入ると反射してしまうので、精密なスポット光が重要。

▲このような亚克力の撮影台

■ 宙に浮いたボトル+羽の降るイメージ ■



この撮影台のカーブの具合によって、1と2のように映り方が変わります。機材セッティングはそのままに、被写体を変えてみました。先ほどまでの設定のままバックライトを発光(1回)させると、降らせた羽はこのように！真っ黒に映ります。ライトを追加すると羽が明るくなり過ぎてボトルが目立たなくなるので、バックライトを2重発光させることにしました。バックライトの出力を半分にし、連続発光2回、発光間隔を0.4秒に設定。シャッタースピードも長く0.7秒にして2重発光させて透け感を出しました。1回目の発光で映った羽がさらに下に落ちる途中で2回目の発光、こうすることで影が薄くなりぼやけた感じに羽が映ります。

ボトルを輝かせるために、正面からではなく後方から光をあてます。

ただしボトル正面に影が出るのを防ぐため、スポット4を使いカッターで光の照射範囲を狭めてボトルにのみ光があたるよう調整。

自在に光を作り出すパルススポット4のアクセサリ

オプティカルスヌート(レンズ150mm)に、付属のカッターで光を四角や三角など自在にカット。商品撮影にもファッション撮影にも活用できます。

または6種類のマスクで小さい円まで様々な大きさのスポットを作り出せます。

模様をつけるゴボマスク(12種類)やスライドホルダーなど、アイデアを実現するアクセサリが揃っています。

もっと手軽で小さなスポットなら=ピコライトシステム

スポットといえばパルススポット4がベスト。でもブロンカラーにはもっと小さくて可愛い小型ライト=ピコライトがあるので。このピコライトならセッティングの難しい小さい被写体の場合などコンパクトに活用できます。



■ プロジェクションアタッチメント ■

マスクで光をカットしてスポット光を作れます。小型なので被写体に寄せることができ便利。



■ ピコボックス ■

均一な面光源を作り出す、ピコライト用ボックスライト。



▶ splashing water
ボックスライト
パルソスポット4



■ 水しぶきを止める、短い閃光時間 = ブロンカラー ■



ウォッカボトルの後ろからボックスライト、
ボトルの輪郭（水飛沫のあたる部分）のみライティングするよう
中心は黒ケント紙で光をカットし、輪郭をシャープにライティング

<使用機材>



ボトルの中心部分はスポット4で長方形の形にライティングし、あえてエッジをぼやかして
みました。（スポット4はピント調整が可能です）

スポット4は便利に円形だけでなく四角や三角といった自由な形のライトを作り出せます。

閃光時間は最短の1/8000に設定し、フォーカスもボトルの淵にとることで完全に水を止める。

■ シャンパングラス ■



早い閃光と遅い閃光の活用で、グラスが動いているように見える効果を出す。
グラスを動かすことは難しいのでカメラを動かす。
パルソフレックス EM30×110を両側に使用（CとEMの違いは下記参照）
EMのほうが光の方向をよりコントロールできるので後ろに光が入っていない。
左側のライトの閃光時間を1/85、右側を1/8000、
シャッタースピードを1/40に設定してカメラをぶらしながら撮ると、
グラスが動いているように見える



パルソフレックス EM

バンドア代わりにもなる
フチ有りタイプ。
光照射範囲のコントロール
ができる。



パルソフレックス C

照射面がフラットなので
被写体にギリギリまで近づける
ことが可能。広く光を
拡散したい時に。

■ ボトルの撮影 ■

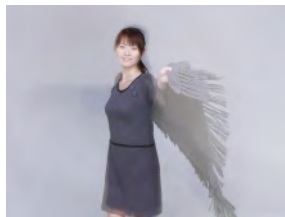


このように反射するようなボトルをライティングする場合、ソフトボックスではムラが出るので、
ボックスライトで均一なライティングをするほうが良い。
ボックスライトは内部にモデリング4本&直線の発光管が2本入って中で拡散させる作りになっており、
均一な面光源をつくるライトとしては最上級。
出力落して使ったのでモデリングランプは比例調光モードで使った=色かぶり防止
ストリップライト 60、後ろから輪郭を出すためにソフトボックス C70も併用

■ 合わせて様々な撮影効果を ■



背景にパルソスポット4用ゴボマスクで
様々な模様を投影させたり



パラ 220FB に HMI800 をつけて定常光ライティング
動きをみせる効果をつけた撮影もできます。



broncolor の豊富なアクセサリは
レンタルでお試し頂けます。
機材費半額&スタジオ代 1h 3,000 円の
格安練習スタジオ【ブロンスタジオ】
では撮影のお手伝いもいたします。